

大島中学校校歌(昭和10年まで)

作詞: 不詳
作曲: 不詳

ひょうぼう
1. 縹茫果てなき 紺青の海

みなぎ さん
大空漲る 粲たる光

神さび美しき 南の島に

雄々しく立ちたる 奄美の健児

あし とどろ
いざ脚そろえ 大地轟に

理想の國へ 共に行かなん

縹: はなだ色、薄い藍色
茫: 水が遠く続いているさま
粲: あざやかで美しい

轟: 轟くさまを強めていう

おおはた
2. 自治の大旆 高らにかざし

剛健の 帆風はためき強く

おだく だいたう うしお
汚濁の大濤 邪悪の潮

かきわき進める 奄美の健児

かい とどろ
いざ櫂揃えて 海も轟に

輝く彼方 共に進まん

大濤: 大波、潮に通ずる

せんたん
3. さ緑薫れる 梅檀の本

ときわ
常盤に茂れる 蘇鐵の葉蔭

北斗の光を 行手にかざし

健児の思ひは 豊かに伸びる

こえ
いざ聲揃えて 空も轟に

たた
我等が母校を 共に讃へん

とこいわ
常盤: 常磐、永久に不変なこと